



問 学校教育について

答 生徒指導を充実して学力の向上を図る

大久保 帝二 議員

問 学力テスト（全国学力・学習状況調査）の分析は。

教育次長 小学校は、4分野中2分野、中学校は、すべての分野で全国・県の平均を上回りました。

教育委員会と学校との連携で誤答と無答を中心に子どもたちのつまずきについて分析しました。分析結果から見つかった課題が解決できるような、授業を改善し、学力の向上を図りたいと思います。

教育次長 学力テストは児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、それらを基に今後の学習指導の改善に努めるものです。五霞町は小規模校のメリットをいかし、きめ細かな指導で更に学力向上を図っていききたい。

問 長期欠席者は。

教育次長 年間30日以上長期欠席者の一学期までの状況は、小・中学校ともに数名おります。不登校に対する学校の対応ですが、担任だけでなく、生徒指導主任等で連携し、家庭訪問による本人や保護者との面談、登校を促すための保健室登校、放

課後登校等で徐々に通常生活に近づけるよう指導しています。

問 携帯電話の扱いは。

教育次長 学校内での携帯電話の使用は禁止です

問 幸手・境線バイパスの今後の整備計画は

答 埼玉県側に強く要望していききたい

ので、家庭内での利用が実態です。小学生では、家族との連絡が主です。中学生では、友達同士のメールやラインでのやりとり、各種調べものなど

です。学校では、保護者との連携を基に携帯電話によるトラブル防止に努めています。

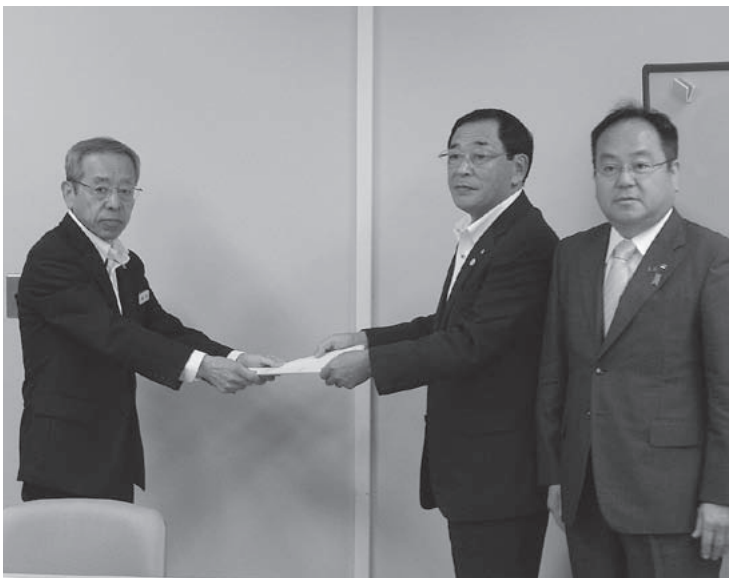
問 五霞町と幸手市を繋ぐ新橋の設計の見直しは。

町長 県道幸手・境線は幸手市と五霞町を繋ぐ重要な路線で、通勤、通学等内外交流の軸として利用者の安全と利便性の向上など、地域の振興には不可欠な路線です。10月には、期成同盟会として埼玉県知事への要望活動を予定しており、供用開始時期の明確化を含めた一日も早い完成を強く要望してまいります。

問 埼玉県側との連携は。

都市建設課長 毎年実施している期成同盟会の要望活動として、今年度は

都市建設課長 新橋の設計を修正していく中で費用負担が伴うため、埼玉・茨城両県で協定を結んだ上で修正設計に着手していくとのこと。



埼玉県知事（代理：県土整備部長）あて要望書を提出する染谷町長と幸手市渡辺市長（10月27日）

問 来年度予算は。

都市建設課長 茨城県では、国に補助金の概算要求を行ったとのこと、埼玉県側も同様の状況です。町として、議員ご指摘の地元の声として継続した事業推進がかないますよう、必要な予算確保に向けた働きかけを行ってまいります。

問 五霞町側の整備は。

都市建設課長 五霞町側の進捗率は、事業費ベースで40%、用地買収はすでに完了しています。今年度の五霞町側の事業として、取り付け道路の改良工事、更にはバイパスの移設工事をするとの状況です。